

安城市DX推進計画2.0 進捗状況の公表

基本方針	主要施策	主要施策の説明	推進スケジュール・概要				令和6年度実績の詳細	令和7年度実績の詳細	令和8年度実績の詳細	令和9年度実績の詳細
			R6年度	R7年度	R8年度	R9年度				
方針1 UI/UXを追求した スマートな行政サービスと活用支援	(1) SNSの利活用	誰が必要な情報までアクセスしやすく、利用しやすい行政サービスの展開を図るため、市公式LINE等の効果的な活用方法を検討するとともに、多くの方に活用してもらうため、友だち登録者数の増加に向けた啓発を実施する。 【KPI】R5：17,534人 → R9：120,000人	・市公式LINEの友だち登録数増に向けた施策検討 ・市公式LINEを使ったサービスの検討及び実装				・市公式LINE友だち登録者啓発（きーぼーLINEスタンプ配布 等）友だち登録者数（3月末時点）：78,201人 ・市公式LINEからのFabSpace利用予約の実装 ・市公式LINEからの児童扶養手当相談予約の実装 ・市公式LINEから確定申告相談会予約の実装			
	(2) オンライン手続の拡充	オンラインで24時間365日いつでも手続ができる業務を検討し、拡充をする。	・申請数や効果の高いと考えられる手続の把握 ・オンライン化するスケジュールの確立				・令和6年度末時点で71件のオンライン手続を実施 ・各課業務でのオンライン予約システム導入の検討			
	(3) 窓口DXの推進	書かない窓口・リモート窓口・混雑状況の見える化を充実させ、窓口のDX化を推進する。	・書かない窓口、リモモど等の利用状況や市民ニーズの検討	・ワンストップ窓口導入の検討			・書かない窓口：1,302人 ・リモート窓口：36人 ・市公式LINEからの児童扶養手当相談予約の実装【再掲】 ・市公式LINEから確定申告相談会予約の実装【再掲】			
	(4) キャッシュレス決済の拡充	公共施設等でのキャッシュレス決済を推進する。	・公共施設でのキャッシュレス決済導入 ・キャッシュレス決済の拡充検討	・キャッシュレス決済の拡充検討			【令和6年10月：24拠点キャッシュレス決済導入】 へきしんギャラクシープラザ ・地区公民館、青少年の家 ・東祥アリーナ、スポーツセンター ・アンフォーレ（証明、旅券窓口センター含） ・市民課、総合斎苑、3支所 ・安城駅西駐車場（東棟）管理事務所 ・建築課 【令和7年度新規導入検討】 ・休日夜間診療所 ・福祉センター			
	(5) デジタルデバイドの解消	デジタルに不慣れな人が安心してデジタル機器が活用できる支援を実施する。	・スマホ講座、相談会の実施 ・スマホ活用ブックの作成、利用				・7月～3月にスマホ講座を開催 参加：延べ1,205人 会場：各福祉センター ・デジタル活用ブックの作成、配布			
方針2 デジタルを活かした地域活性化と未来に向けた基盤づくり	(1) オープンデータ化の拡充	本市の保有データのオープンデータを拡充し、民間や行政自らによるオープンデータの利活用を推進する。 【KPI】R5：54件 → R9：100件	・オープンデータの拡充する項目の検討 ・オープンデータの利用実績の把握及びデータ更新				・16件の新規オープンデータの公開 サイクルポート一覧、指定文化財一覧、埋蔵文化センター観覧者数、収蔵品点数 等 ※公開済オープンデータ：79件 ・DX推進リーダー向けオープンデータ研修の実施			
	(2) 産学官連携の取組推進	民間企業や行政、学校などが連携し、デジタルを生かした取組を推進する。	・産学官連携による実証的な取組の推進				・「デジタル人材育成推進事業」eフェスNEXT2024 1月11日（土）アンフォーレ 開催			
	(3) データ連携基盤の構築	民間や行政が所有する様々なデータがつながる基盤を構築し、新たなサービス創出に向けた検討を推進する。	・AIカメラを活用したデータ収集及び分析	・データを連携するための基盤構築の推進			・アンフォーレでのAIカメラを活用したデータ収集及び分析の実証実験			
	(4) 各分野でのデジタル活用推進	子育て、福祉、まちづくり、商工業、農業等各分野でのDX取組を推進する。	・各分野でのDXへの取組支援				・電子契約導入に向けての検討 ・中小企業のデジタル化支援の実施（ものづくりデジタル支援事業）			
	(5) 次世代のデジタル教育の充実	授業内容に合わせたタブレット端末の有効活用に資する環境を整備する。	・学習支援システムを利用し、授業での活用や持ち帰り学習を実施。				・教職員向けのIT関係の研修の実施（ネットモラル研修、ICT活用研修 等） ・タブレット端末での活用事例の共有 ・ICT支援員の配置			

安城市DX推進計画2.0 進捗状況の公表

基本方針	主要施策	主要施策の説明	推進スケジュール・概要				令和6年度実績の詳細	令和7年度実績の詳細	令和8年度実績の詳細	令和9年度実績の詳細
			R6年度	R7年度	R8年度	R9年度				
方針3 庁内DXによる業務改善とデジタル人材育成	(1) AI・RPAの活用拡大	AI・RPAでの活用拡大を支援し、業務効率化を推進する。	・業務の見直しを含めたRPA適用業務の拡大				【RPA】 ・新規で15件のRPAを構築 ・全体で1,442時間の業務削減 【AI-OCR】 ・全体で1,749時間の業務削減 【生成AI】 ・生成AIの活用による業務改善プロジェクトの実施（研修、ワークショップ、伴走支援）			
	(2) 住民向けシステムの標準化	国が指定する20業務について、国が作成した標準仕様書に適合するシステムへの移行を進める。	・業務システムをガバメントクラウド上に構築				・標準仕様書に準拠したシステムへの改修について、2業務が完了 ・現行システムと標準仕様書との比較分析			
	(3) デジタル環境整備とEBPMの推進	クラウドサービスの利用に適したデジタル環境整備を進めるとともに、データを利活用しやすい環境のもと、EBPMを推進する。	・EBPM研修の実施 ・クラウドサービスを利用しやすいデジタル環境の整備				・主査級職員向けのEBPM研修の実施（参加：29名） ・BIツール研修の実施			
	(4) 職員のITリテラシー向上	職員全員がDXの重要性や価値、考え方を理解し、ITリテラシーが向上する取組を推進する。 【KPI】 R5：42% → R9：80%	・デジタル人材育成方針の策定 ・DX推進リーダーを中心としたセミナーや研修の実施	・DX推進リーダーを中心としたセミナーや研修の実施			・安城市デジタル人材育成・確保基本方針の策定 ・DX推進リーダー向け研修（オープンデータ等）の実施 ・生成AIの活用による業務改善プロジェクトの実施（研修、ワークショップ、伴走支援）【再掲】			
	(5) 外部人材の活用	幅広い分野で外部人材を有効活用し、デジタル環境の向上や、職員のマインドセット向上を推進する。	・DX推進アドバイザーとの意見交換会や相談会の実施 ・民間事業者によるDX支援業務委託の実施				・DX推進アドバイザーとの意見交換会の実施 ・生成AIの活用による業務改善プロジェクトの実施（研修、ワークショップ、伴走支援）【再掲】			